

福岡県建設工事工事成績評定要領について

平成 19 年 3 月 30 日
18 管第 12015 号
総務部長依命通達

本庁各部各課（室）長
警察本部長
教育長
各委員会（委員）事務局長
県議会事務局長
各出先機関の長

福岡県が発注する建設工事に係る工事の成績評定につきましては、従来工事成績評定要領について（平成 14 年 3 月 4 日 13 管行第 142 号総務部長依命通達）により実施してきたところがありますが、平成 19 年 4 月 1 日から、別添福岡県建設工事工事成績評定要領に基づき実施することとなりましたので、内容を十分に理解の上、事務処理に遺漏のないよう願います。

なお、工事成績評定要領について（平成 14 年 3 月 4 日 13 管行第 142 号総務部長依命通達）は、廃止します。

上記のとおり命により通達します。

福岡県建設工事工事成績評定要領

最終改正 令和5年3月3日 4財活第2711号

(趣旨)

第1条 この要領は、福岡県が発注する建設工事に係る工事成績評定（以下「評定」という。）の実施に関し必要な事項を定め、厳正かつ確かな評定の実施を図り、もって建設業者の適正な選定及び指導育成に資することを目的とする。

(評定の対象)

第2条 評定の対象は、原則として1件の請負金額が500万円を超える建設工事（以下「工事」という。）とする。ただし、発注を行う部局（以下「部局」という。）が必要でないとする工事については、評定の対象から除くことができる。

2 前項の規定にかかわらず、1件の請負金額が250万円を超える工事のうち、受注者が希望する場合及び部局で定める工事は、評定の対象とすることができる。

(評定の内容)

第3条 評定は、工事の施工状況及び目的物の品質等について行うものとする。

(評定者)

第4条 評定を行う者（以下「評定者」という。）は、次の各号に掲げる者のいずれかとする。

- (1) 当該工事の契約を担当する所属の長（以下「所属長」という。）及び福岡県財務規則（昭和39年福岡県規則第23号）第177条に規定する当該工事の検査員（以下「検査員」という。）
- (2) 所属長が指定する者

2 前項の規定にかかわらず、農林水産部、県土整備部及び建築都市部（以下「発注部」という。）においては、検査員及び各発注部で定める者が評定を行うものとする。

(評定の方法等)

第5条 評定は、工事ごと及び評定者ごとに独立して的確かつ公正に行うものとする。

2 工事成績の評定は、「建築及び建築設備工事を除く全ての工事」の工事成績の評定者は、「工事成績採点表」（様式第1号その1-1）、「工事既済部分〔中間〕検査採点副表」（様式第1号その2-1及び様式第1号その2-2）、「建築及び建築設備工事」の工事成績の評定者は、「工事成績採点表」（様式第1号その1-2）により行うものとする。

3 評定の結果は、工事成績評定表（様式第2号。以下「評定表」という。）に記載もしくはその内容を記録するものとする。

4 評定の詳細については、各部局が別に定めるものとする。

(評定の時期)

第6条 検査員である評定者は検査を実施したときに、その他の評定者は工事が完成したときに、それぞれ評定を行うものとする。

(評定表の提出)

第7条 評定者は、評定を終了したときは、速やかに、所属長に工事成績評定結果提出書（様式第3号）及び添付書類を提出するものとする。

(評定の結果の通知)

第8条 所属長は、評定者から評定表の提出があったときは、速やかに、当該工事の受注者に対して、工事成績評定通知書（様式第4号その1）に項目別評定点（「建築及び建築設備工事を除く

全ての工事」にあつては様式第5号その1、「建築及び建築設備工事」にあつては様式第5号その2)を添付して、評定の結果を通知するものとする。

- 2 評定の通知を行った後、正当な理由により評定を修正した場合は速やかに、工事成績評定通知書(様式第4号その2)に項目別評定点(「建築及び建築設備工事を除く全ての工事」にあつては様式第5号その1、「建築及び建築設備工事」にあつては様式第5号その2)を添付し受注者に通知するものとする。

(説明請求等)

第9条 前条の規定により通知を受けた者は、通知を受けた日の翌日から10日間(福岡県の休日(以下「県の休日」という。)を除く。)、工事成績評定結果説明請求書(様式第6号)により、通知を行った所属長に対して評定の内容について説明を求めることができる。

- 2 所属長は、前項の規定により説明を求められたときは、同項の期間の末日の翌日から起算して10日以内(県の休日を除く。)に、工事成績評定に係る説明書(様式第7号)により回答するものとする。
- 3 所属長は、前項の回答をする場合、工事成績評定評価委員会の審議を経るものとする。
- 4 所属長は、第2項の回答を行ったときは、説明申立者の提出した書面及び回答を行った書面を、閲覧による方法により速やかに公表するものとする。

(工事成績評定評価委員会)

第10条 前条の工事成績評定評価委員会は、各部局において設置するものとする。

(評定表の提出期限及び提出先)

第11条 所属長は、検査を完了した工事に係る評定表を建築都市部建築指導課が指定する日までに同課に提出するものとする(出先機関にあつては各部局主管課経由)。

- 2 前項の提出は、各部局が運用している情報システムを通じて行うことができるものとする。

(各発注部の協力等)

第12条 各発注部は、評定の詳細の改正等に際して発注部間で協議するものとする。また、発注部以外の部局から評定について協力要請があつたときは、これに応じるものとする。

附 則

この要領は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成22年8月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成27年5月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成30年12月4日から施行する。

附 則

この要領は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和4年7月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和5年4月1日から施行する。

様式目次

様式第1号その1-1	工事成績採点表〔完成・一部完成〕	第5条
様式第1号その1-2	工事成績採点表〔完成・一部完成〕	第5条
様式第1号その2-1	工事既済部分〔中間〕検査採点副表	第5条
様式第1号その2-2	工事既済部分〔中間〕検査採点副表	第5条
様式第2号	工事成績評定表	第5条
様式第3号	工事成績評定結果提出書	第7条
様式第4号その1	工事成績評定通知書	第8条
様式第4号その2	工事成績評定通知書	第8条
様式第5号その1	項目別評定点	第8条
様式第5号その2	項目別評定点	第8条
様式第6号	工事成績評定結果説明請求書	第9条
様式第7号	工事成績評定に係る説明書（回答）	第9条

工事成績採点表〔完成・一部完成〕

事務所名		課(室)係		事業主管課		検査年月日		年		月		日																					
起工番号		事業名		事業		工事名																											
受注者名		河川路線名等				施工箇所																											
業者コード	(8桁)	工期		年		月		日	～	年		月		日	契約金額(最終)		円																
考 査 項 目	項 目	細 別	監督員					主任監督員又は係長					総括監督員又は課長					検査員(既済・中間)※7					検査員(完成)										
			氏名		細別点			氏名		細別点			氏名		細別点			氏名		中間検査副表に記入			氏名		細別点								
			a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1.施工体制	I.施工体制一般		+1	+0.5	0	-5	-10																										
	II.配置技術者		+3	+1.5	0	-5	-10																										
2.施工状況	I.施工管理		+4	+2	0	-5	-10													+5	+2.5	0	-7.5	-15		+5	+2.5	0	-7.5	-15			
	II.工程管理							+4	+2	0	-5	-10	+2	+1	0	-7.5	-15																
	III.安全対策							+5	+2.5	0	-5	-10	+3	+1.5	0	-7.5	-15																
	IV.対外関係							+2	+1	0	-2.5	-5																					
3.出来形及び出来栄	I.出来形		+4	+2	0	-2.5	-5													+10	+7.5	+5	+2.5	0	-10	-20	+10	+7.5	+5	+2.5	0	-10	-20
	II.品質		+5	+2.5	0	-2.5	-5													+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25	+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25
	III.出来栄																			+5	+2.5	0	-5		+5	+2.5	0	-5					
4.工事特性	I.施工条件等への対応※2													+	(20)	0																	
5.創意工夫	I.創意工夫※2																																
6.社会性等	I.地域への貢献等※3																			+10	+7.5	+5	+2.5	0									
加減点合計(1+2+3+4+5+6)			点					点					点					点															
評定点(65±加減点合計)※1			監督員+主任監督員 ①					点					②					点															
各評定員の評定点			⑥=①×0.4					点					⑦=②×0.2					点															
7.評定合計 ※6			点															⑧=⑤×0.4					点										
8.法令遵守等 ※5																		⑧+⑦+⑧=					点										
9.評定合計			点					・7.評定合計(点)					-8.法令遵守等(点)=					点					
10.総合評価技術提案			技術提案履行確認 ※9																														

※1 1～3の評定(65点±加減点合計)+4, 5, 6の評定(加減点合計)-8の評定(減点)=評定点 各評定点(①～④)は小数第1位まで記入する。
 ※2 工事特性および創意工夫の評定は工事全般を通して、特に優れた技術等を評価する項目とする。そのため評定は加点評価のみとする。
 ※3 社会性等の評価では地域への貢献度等の観点から加点評価のみとする。また、法令遵守等は減点評価のみとする。
 ※4 各検査項目ごとの採点は、監督員、主任監督員又は係長、総括監督員又は課長それぞれに対応した、発注を行う部局が別に定める「採点項目表」により行い、検査員の評価に先立ち記入する。
 ※5 法令遵守の評価は、総括監督員又は課長が行う。
 ※6 評定合計は四捨五入により整数とする。
 ※7 既済部分(中間)検査が行われた場合は、「既済(中間)検査採点副表」(様式第1号その2-1及び様式第1号その2-2)にそれぞれの評定点を記入し、その平均点を記入する。
 ※8 既済部分(中間)検査が行われた場合:⑤=③×既済検査対象直接工事費計/直接工事費計+④×完成検査対象直接工事費計/直接工事費計 ・既済部分(中間)検査がなかった場合:⑤=④
 ※9 総合評価技術提案は、技術提案の履行が確認できない場合は、『不履行』を選択する。
 ※10 本表の検査項目以外の記載事項各欄については、発注を行う部局が別に定めることができるものとする。

工事成績採点表 [完成・一部完成]

工事名		契約金額(最終)																																					
受注者名		工 期												～						完成年月日																			
考 査 項 目		①監督員						②工事係長						③工事検査員(既済・中間)						③工事検査員(既済・中間)						④工事検査員													
		氏名						氏名						氏名						氏名						氏名													
項目	細別	a	b	c	d	e	評価	a	a'	b	b'	c	d	e	評価	a	a'	b	b'	c	d	e	評価	a	a'	b	b'	c	d	e	評価	a	a'	b	b'	c	d	e	評価
1. 施工体制	I 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5	-10																																	
	II 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5	-10																																	
2. 施工状況	I 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5	-10										+5	-	+2.5	-	0	-7.5	-15		+5	-	+2.5	-	0	-7.5	-15		+5	-	+2.5	-	0	-7.5	-15	
	II 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5	-10		+2.0	-	+1.0	-	0	-7.5	-15																									
	III 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5	-10		+3.0	-	+1.5	-	0	-7.5	-15																									
	IV 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5																																	
3. 出来形及び出来ばえ	I 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5										+10	+7.5	+5	+2.5	0	-10	-20		+10	+7.5	+5	+2.5	0	-10	-20		+10	+7.5	+5	+2.5	0	-10	-20	
	II 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5										+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25		+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25		+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25	
	III 出来ばえ															+5	-	+2.5	-	0	-5	-		+5	-	+2.5	-	0	-5	-		+5	-	+2.5	-	0	-5	-	
4. 工事特性	I 施工条件等への対応(※2)	0						0																															
5. 創意工夫	I 創意工夫(※3)	0																																					
6. 社会性等	I 地域へ貢献等(※4)							+10	+7.5	+5	+2.5	0	-	-																									
加減点合計 (1+2+3+4+5+6)		点						点						点						点																			
評 定 点 (※1)		① 点						② 点						③ 点						④ 点																			
評定点計(※5)		点																																					
		※ 既済部分(中間)検査があった場合 (①+②+③)×0.5+④×0.5=細目別評定点(既済、中間が2回以上の場合は③を平均する)。 ※ 既済部分(中間)検査がなかった場合 (①+②+④)=細目別評定点																																					
7. 法令遵守等(※6)		点						法令遵守等の該当事由																															
評 定 点 合 計 (※7)		点						評定点計(点) - 7.法令遵守等(点) = 点						(1回完済分 点、2回完済分 点、完成分 点)																									
所 見 (※8)		監督員																																					
		工事係長																																					
		工事検査員																																					

※1 65点+加減点合計(1+2+3+4+5+6)とする。

各評定点(①~④)は小数第1位まで記入する。

※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。

評価に際しては、監督員からの報告を受けて工事係長が評価するものとする。

※3 創意工夫は、工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合に評価する項目である。

※4 社会性等の評価では地域への貢献等の観点から、加点評価のみとする。

※5 既済部分(中間)検査があった場合: (① 点×0.4+② 点×0.2+③ 点×0.2+④ 点×0.2) = 点 ※ただし、③(既済、中間)が2回以上の場合は平均値

※6 法令遵守等は減点評価のみとし、評価は工事係長が完成検査時に行う。

※7 評定点合計は、四捨五入により整数とする。

※8 所見欄には評定結果の概要を記載する。

※9 各考査項目ごとの採点は、様式第3号その3考査項目別運用表(公共建築工事)により行い、工事検査員の評価に先立ち記入する。

※10 本表の考査項目以外の記載事項各欄については、発注を行う部局が別に定めることができるものとする。

工事既済部分〔中間〕検査採点副表

[1回~4回]

所属名		工事名												起工番号																					
受注者名		工期												年月日~年月日																					
考 査 項 目		検査員（既済・中間）1回						検査員（既済・中間）2回						検査員（既済・中間）3回						検査員（既済・中間）4回						細 別 点									
		年		月		日		年		月		日		年		月		日		年		月		日		平均	加重平均								
		氏名						氏名						氏名						氏名															
項 目	細 別	a	a'	b	b'	c	d	e	細別点	a	a'	b	b'	c	d	e	細別点	a	a'	b	b'	c	d	e	細別点	a	a'	b	b'	c	d	e	細別点	※2	※2
1.施工体制	I.施工体制一般																																		
	II.配置技術者																																		
2.施工状況	I.施工管理	+5		+2.5		0	-7.5	-15		+5		+2.5		0	-7.5	-15		+5		+2.5		0	-7.5	-15		+5		+2.5		0	-7.5	-15			
	II.工程管理																																		
	III.安全対策																																		
	IV.対外関係																																		
3.出来形及び 出来栄	I.出来形	+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20		+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20		+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20		+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20			
	II.品質	+15	+12	+7.5	+4	0	-12.5	-25		+15	+12	+7.5	+4	0	-12.5	-25		+15	+12	+7.5	+4	0	-12.5	-25		+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25			
	III.出来栄	+5		+2.5		0	-5			+5		+2.5		0	-5			+5		+2.5		0	-5			+5		+2.5		0	-5				
4.工事特性	I.施工条件等への対応																																		
5.創意工夫	I.創意工夫																																		
6.社会性等	I.地域への貢献等																																		
加減点合計(2+3)		点						点						点						点															
評定点(65±加減点合計)※1		③-1 点						③-2 点						③-3 点						③-4 点															
対象直接工事費※4		十万円						十万円						十万円						十万円															

※1 各評定点(③-1~③-4)は小数第1位まで記入する。

※2 平均値は小数第2位まで記入する。ただし、工事成績採点表様式第1号その1-1の中間検査評定欄に記入する時小数第2位を四捨五入し小数第1位までとする。

※3 各考查項目ごとの採点は、発注を行う部局が別に定める「採点項目表」により行う。

※4 対象直接工事費は10万円単位(1万円単位を四捨五入)で記入する。

※5 全体直接工事費(設計額・最終)は10万円単位(1万円単位を四捨五入)で記入する。

全体直接工事費(設計額・最終)※5	十万円
-------------------	-----

中間検査対象直接工事費計	十万円
完成検査対象直接工事費計	十万円

工 事 成 績 評 定 表

年 度	発注機関名（所属名）	年度 — 工事番号 — 工区
発注区分	1 単体企業	2 共同企業体
受注者	業者コード	商号、企業体名
業者コード 及び商号		
検査年月日	年 月 日	契約方法（一般競争・指名競争・随契）

工 事 の 種 類	01 土木一式	07 屋 根	13 ほ 装	19 内装仕上	25 建 具
	02 建築一式	08 電 気	14 しゅんせつ	20 機械器具設置	26 水道施設
	03 大 工	09 管	15 板 金	21 熱絶縁	27 消防施設
	04 左 官	10 タイルれんが ブロック	16 ガラス	22 電気通信	28 清掃施設
	05 とび土工 コンクリート	11 鋼構造物	17 塗 装	23 造 園	29 解 体
	06 石	12 鉄 筋	18 防 水	24 さく井	番 号

工事の種類	請負金額（税込） （千円）
-------	--

総合評定

点

※評定は工事成績採点表（様式第1号その1）による

記 載 上 の 注 意 事 項

- (1) 発注区分について
単体企業に発注した場合は1を、共同企業体に発注した場合は2を、○で囲むこと。
- (2) 業者コードについて
指名競争入札参加資格者名簿により確認のうえ記入すること。
例1) 福岡県知事許可業者で、許可番号が1234の業者の場合→40001234と記入すること。
例2) 大臣許可業者で、許可番号が5678の業者の場合→00005678と記入すること。
例3) 共同企業体の場合→個別に付与された業者コードを記入すること。（例えば61010013など）
- (3) 商号について
・本店が県外にある大臣許可業者で県内に支店等がある場合は、支店名等まで記入すること。
例) ○○建設（株）○○支店、（株）○○建設○○営業所など
・共同企業体は企業体名を記入し、その他の業者は商号を記入すること。例) ○○建設（有）など
- (4) 工事の種類について
業者が県に提出した指名願の業種のうち、該当する工事の番号を記入すること。例) 01、02など
- (5) 請負金額について
千円単位（千円未満は四捨五入）で記入すること。

工事成績評定結果提出書

所属長 職名 殿

年 月 日

(提出者)

年度

起工番号

工事名

工事箇所

受注者

請負金額 円

上記工事について、工事成績評定要領に基づき評定した結果を別紙のとおり提出します。

添付書類

(完 成)

- 工事成績評定表 (様式第2号)
- 細目別評定点採点表 (部局が別途定める)
- 工事成績採点表〔完成・一部完成〕 (様式第1号その1-1)
- 工事成績項目別判定表〔完成・一部完成〕 (部局が別途定める)
- 採点項目表〔完成・一部完成〕 (部局が別途定める)

(中 間)

- 工事既済部分 (中間) 検査採点副表 (様式第1号その2-1、2-2)
- 工事成績項目別判定表〔中間検査〕 (部局が別途定める)
- 採点項目表〔中間検査〕 (部局が別途定める)

※ 工事成績評定結果提出書の起工番号、工事名等の記載事項並びに添付書類については、発注を行う部局が別に定めることができるものとする。

様式第4号その1
公印省略

第 号
年 月 日

殿

所属長 職名

工 事 成 績 評 定 通 知 書

貴社（殿）が受注した工事について、工事成績評定要領に基づき評定した結果を通知します。なお、評定の結果に疑問がある時は、この通知を受けた日の翌日から10日間（県の休日を除く。）、疑問の内容を記入した書面により、説明を求めることができます。

疑問の旨に対する説明は、書面により回答します。

なお、説明を求める場合の書面の送付先及び手続き等についての問い合わせ先は下記のとおりです。

記

- 1 起工番号
- 2 工事名
- 3 工事の種類
- 4 工期 年 月 日～ 年 月 日
- 5 完成検査年月日 年 月 日
- 6 成績評定 点（項目別評定点は別紙のとおり）
- 7 送付先及び問い合わせ先
住 所
所属名
電話番号

様式第4号その2

公印省略

第 号
年 月 日

殿

所属長 職名

工 事 成 績 評 定 通 知 書

貴社（殿）が受注した工事について、工事成績評定要領に基づき評定した結果を通知します。なお、評定の結果に疑問がある時は、この通知を受けた日の翌日から10日間（県の休日を除く。）、疑問の内容を記入した書面により、説明を求めることができます。

疑問の旨に対する説明は、書面により回答します。

なお、説明を求める場合の書面の送付先及び手続き等についての問い合わせ先は下記のとおりです。

記

1 起工番号

2 工事名

3 工事の種類

4 工期 年 月 日 ～ 年 月 日

5 完成検査年月日 年 月

6 成績評定 通知済評定点 点
修正後評定点 点（項目別評定点は別紙のとおり）

7 送付先及び問い合わせ先

住 所

所属名

電話番号

項目別評定点

起工番号	工事名	
評価項目	細別	評定点/満点
1.施工体制	I.施工体制一般	/ 点
	II.配置技術者	/ 点
2.施工状況	I.施工管理	/ 点
	II.工程管理	/ 点
	III.安全対策	/ 点
	IV.対外関係	/ 点
3.出来形及び 出来栄え	I.出来形	/ 点
	II.品質	/ 点
	III.出来栄え	/ 点
4.工事特性（加点のみ）	I.施工条件等への対応	/ 点
5.創意工夫（加点のみ）	I.創意工夫	/ 点
6.社会性等（加点のみ）	I.地域への貢献等	/ 点
7.法令遵守等（減点のみ）		
評 定 点 合 計		/100点

※評定点合計は、少数第1位の四捨五入により整数とする。

項目別評定点

評価項目	工事名	
	細別	評定点/満点
1.施工体制	I.施工体制一般	/ 点
	II.配置技術者	/ 点
2.施工状況	I.施工管理	/ 点
	II.工程管理	/ 点
	III.安全対策	/ 点
	IV.対外関係	/ 点
3.出来形及び 出来栄	I.出来形	/ 点
	II.品質	/ 点
	III.出来栄	/ 点
4.工事特性(加点のみ)	I.施工条件等への対応	/ 点
5.創意工夫(加点のみ)	I.創意工夫	/ 点
6.社会性等	I.地域への貢献等	/ 点
7.法令遵守等(減点のみ)		
評 定 点 合 計		/100点

※ 評定点合計は小数点以下第1位を四捨五入した整数としている。

様式第6号

年度 (年災害)	○公共 ○災害	起工 査定	号
--------------	------------	----------	---

年 月 日 起案

年 月 日 決裁

工 事 成 績 評 定 結 果 説 明 請 求 書

福岡県

殿

年 月 日

受注者 住 所 市 町 大字
郡 村

商 号
氏 名

工 事 箇 所 線 市 町 大字
筋 郡 村

工 事 名

契約年月日 年 月 日

工 期 年 月 日から 年 月 日まで

完 成 年 月 日

請 求 理 由

.....

.....

.....

.....

工 事 成 績 評 定 評 価 委 員 会 の 開 催 (依 頼) 伺

上記の工事成績評定説明請求についての回答をするため、別紙案のとおり下記工事成績評定評価委員会に諮ってよろしいか、お伺いします。

工 事 成 績 評 定 評 価 委 員 会 の 区 分 事 務 所 本 庁

様式第7号

公印省略

番 号
年 月 日

住 所
商号又は名称 殿
代表者氏名

所属長 職名

工 事 成 績 評 定 に 係 る 説 明 書 (回 答)

年 月 日 付けで貴社から説明を求められました評定内容について、下記
のとおり回答します。

記

- 1 工事名 工事
- 2 工 期 年 月 日～ 年 月 日
- 3 完成検査年月日 年 月 日
- 4 疑問に対する回答

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....